



Lead【ニュース】

■居場所を作る難しさと楽しさ■

育ちあいのひろばでは、数年前から「子育て支援」という言葉を極力使わないようにしてきました。「支援」という言葉が「他人を支え、たすけること。援助」と意味されるように、どうしても困難にある人を支えるというネガティブな意を持つように見え、本来「子育て」という言葉に含まれる、希望や温かさが失われてしまうようにも思えるからです。児童虐待や育児不安など、確かにそうしたネガティブな部分を持っていることもあります。本来当たり前のように「助け助けられて」きた社会が変わってしまったことが問題のように思えます。

子育てをする家庭、特に母親は、子育てを支援してもらい“サービスの受け手”だけでなく、支え手としても「支援を受けたり支えたりする」存在でもあります。保護者への「気軽に相談できる相手」の調査では、その約9割(89.2%)が「家族・両親」を挙げており、次にあがるのが「友人・知人」(76.9%)となっています。一方、「幼稚園や保育園の保育者」は17.9%、子育て支援施設関係は8.2%で、もはや支援を行う専門職としての存在価値が危ぶまれるような結果となっています。このように、いわゆる「子育て支援」には、専門職の支援やアドバイスだけでなく、子育てをする当事者同士の支え合い(ニピア・サポートといいますが)こそが大切であるといわれているのです(ちなみに、たいむのような地域子育て拠点を利用する際の不安ポイントとして、「仲間」「スタッフ」「活動内容」などが挙げられていますが、いずれも利用してみると解消される傾向があるようです)。

昨年末に行われた忘年会は、利用者の方々が主役になって、企画し・実行して素晴らしい会になりました。事前に準備だけでなくノロウィルスの対策など、細々したところまでいろいろと打ち合わせを重ねたり、その都度来ている方同士声をかけ合って準備をしたりしていました。こうした機会が増えれば、たいむはもっと活気ある広場になるのではと思いました。過去にも、衣類交換会をしたり学祭でのフリマ、プラバン制作、体操クラブ、ゆるたいそうなど、利用者主体の活動がありました。たいむに“NG”はありませんので、疲れてしまわない程度に行って、一過性のことにならないよう継続していけるようになったら最高だと思います。

たいむでは、毎年、利用する方(保護者や子ども)の「居場所」となることができるよう少しずつ改革を行っています。オープン時間を16:00まで伸ばしたり、3歳までだった年齢制限を無くしたり、昨年はまんぶくcafeをはじめたりと、徐々に広場としての機能を増やしてきました。

さて、今年(次年度)のたいむは、利用者が運営を考える機会を開催したいと考えています。毎月、利用者であるママやパパが集まり、「こんな広場になったらいいな」「あんな企画をするのはどうかな」など、それぞれのアイデアを持ち寄って、スタッフや学生とともに考えていけるような場(ワークショップ)を設けたいと考えています。まずはそうした意見交換や共同作業からはじめて、理想的な広場になるような試みをしていけたらと思っています。

今年も良い年になるようご祈念致します。

石井章仁(いしい・あきひと;たいむ統括)

■お母さん主体の企画■

12月26日(月)に、お母さん企画の忘年会が行われました。11月の始め頃に、スタッフが何気なくお母さん方に問いかけたところ、「忘年会をやりたいな!」という話が出ました。この会話がきっかけとなり、10人程のお母さんが企画から当日まで活動しました。この企画を立案した時点では、あまりかかわりがなかったお母さん同士も話をするようになり、楽しそうに会話をしたり、時にはテーブルを囲み打ち合わせをしたりしていました。みんなでアイデアを出し合って企画が進められていくなかで、「〇〇さんも一緒にやりませんか?」など声をかけ合う姿も見られました。

当日は、21組63名の参加がありました。調理、子どもを見守るグループに分かれて進んでいきましたが、見守るグループのお母さん方は、自分の子どもだけではなくよその子と手を繋いで遊んだり、眠くなった子がいたら、その子の抱っこひもを借りて昼寝をしたり、とても穏やかに過ごしていました。2年生の学生S君も会場の準備を手伝ったり、子どもたちと遊んだりしていました。

普段のたいむの室内だけでなく、3階の講堂も開放したことで身体を思いきり使って遊ぶことができ、普段のブロックコーナーよりも広いスペースで大型ブロックやカプラの作品を作ることもできました。

調理グループのお母さん方は、衛生面にも配慮しながら、豚汁を大鍋2個分・ウィンナー・ポテトサラダ・枝豆といったおかずからおやつのゼリーなどを用意しました。主食のおにぎりは、衛生面を考慮して家庭ごとに握ることにしました。お母さんと一緒にラップでおにぎりを握る子どもたちの表情はとても真剣でした。食事の時には、自分で握ったおにぎりとおかずを美味しく

に食べながら子どもたちの会話も弾み、おかわりをする親子が後を絶ちませんでした。



が読んでくれているので」と少し照れた様子でした。

おやつの後には、2歳から小学校3年生の子どもたちが大掃除をしました。掃除機をかけた後、雑巾で玩具の消毒や窓拭き、床拭きをしたりする姿に、「家では自分で掃除をしないのに、こういう風にもみんなでやっている姿を見ると、成長しているのがわかるね」と、お母さん方は感心していました。掃除や会場準備や室内のあそび場づくりをするなど、進んで行う様子に大人たちも驚いていました。

今回の企画は、「こうしてみよう」「こうしたらどうかな」と、お母さん方から沢山のアイデアが出てきました。事前準備、当日のタイムスケジュールや環境設定の貼り紙なども作り、細かい部分にも配慮されていました。終了後には、「とても楽しかったね」「また、こういう機会が欲しいね」という話もあり、スタッフの企画よりも、お母さん主体の企画には特別な力(パワー)があるように感じました。「いつでも」「誰でも」企画を提案し、みんなで力を合わせて楽しんでできる環境が望ましいと強く思いました。(本田)



◇ クリスマス たいむ ◇ 12月21日(水) ◇

短期大学2号館にあるリズム室にて、13時30分より1時間程、たいむのクリスマス会を行いました。

短大教員の明石先生のギター生演奏から始まりましたが、クラシックギターのみの音色は子どもたちの耳にも心地良かったようで、静かに聴き入る子もいました。



また、明石先生のギターに合わせて『きよこのよる』を鈴・カスタネット・タンバリンで合奏し、子どもたちもたちも楽しんでいました。お母さん方からは、「明石先生のギターとても素敵だったので、また聴きたいな」という話もききました。他には、スタッフはミュージックパネルシアター「森のクリスマス」のおはなしをしましたが、こちらも親子で楽しんでいただけたようです。



会の最後には、まさかのサンタクロースの登場に喜ぶ子・驚く子・まだ解らない子と様々でしたが、泣き出す子はおらず、サンタクロースとのやりとりには、笑い声が響きました。

明石ゼミの有志の2年生が4名参加し『きよこのよる』で歌を歌いました。クリスマス会の終了後には、リズム室の中で鬼ごっこをして元気に遊んでいました。



たいむにプレゼントを届けてくれたサンタクロース、実はとてもお話が好きだったので、もっと子どもたちと話をしたかったとのこと。今年のクリスマスまでまだまだ月日はありますが、話好きなサンタクロースに会えることを楽しみにしたいです。

◇ まんぷく CAFE ◇ 「まんぷく Cafe」がOPENして半年が過ぎました！

今年度より、千葉市中央区の助成を受け近年全国的に広がる「こども食堂」を始めました。たいむは、通常16:00までのOPENとなっていますが、毎月第3金曜日は16:00～20:00を「まんぷく Cafe」の時間とし、大人300円、子ども100円で夕食を提供するほか、学生ボランティアも入りながら、遊んだり・学んだりする活動を行っています。また、この活動には、1,2年生の学生もサポートに入り、子どもと遊んだり配膳や食事作りの補助などを行ったりしています。メニューは、子どもも大人もおなか一杯“まんぷく”になるようなメニューを提供しており、おおむね1回に70～100食を作っています。

月日	メニュー
4/22	カレーライス・サラダ・バナナ
5/20	煮込みハンバーグ・サラダ・スープ
6/27	麻婆豆腐・サラダ・オレンジ
7/15	親子丼・磯あえ・味噌汁
8/19	ミニ縁日（焼きそば、綿あめ、焼きマシュマロ、ソーセージ）
9/16	みんなで手作りピザ・ミネストローネスープ・みたらし団子
10/21	キーマカレー・黄金ライス・焼きリンゴ
11/11	ハンバーグ・ポテト・コンソメスープ・みかん
12/16	三色そばろ丼・とん汁

ご飯を食べた後は、たいむや3F講堂で、オセロやジェンガ、将棋、UNOなどのゲームや卓球やドッチボールなど、静かな遊びや体を動かす遊びをして楽しみます。乳幼児から小学生まで団らんし、保護者とともに異年齢で遊んで過ごす場を作っています。千葉市からの補助は

単年度ですが、次年度も継続して行う予定です。*この事業は、千葉市中央区「地域活性化支援事業」の補助を受けており、千葉市保健所に相談し適正な衛生管理を行った上で活動しています。▶詳しくは、Facebook：<https://www.facebook.com/manpukucafe/> /たいむスタッフまで。

◆お正月を祝おう!◆

たいむでもお正月を祝いませんか? 正月あそびをしたり、七草粥を食べたりしながら日本ならではの文化に触れられるように考えています。

【日 時】 1月6日(金)

【場 所】 たいむ

◆学生によるうたとおはなしのひろば♪◆

今月も学生の昼休みに、季節のうた・パネルシアターを行います。

【日 時】 1月19日(木) 13:00-13:15

【場 所】 短期大学図書館 絵本コーナー (たいむの隣の部屋)

◆もちつき たいむ◆

今年もみんなで力を合わせてお餅をつきませんか? 餅米を蒸かしたり、杵でついた餅を返したりなど、お父さん・お母さんのお手伝い大募集!(詳しくはスタッフまで)

【日 時】 1月21日(土) 11:00-14:00頃

【場 所】 中庭

【持ち物】 箸・皿・飲み物・餅につける物(のり・しょうゆ等)

【参加費】大人 300 円 子ども 100 円

◆もちつき TOYS◆

石井ゼミの学生ももちつきにチャレンジ!

【日 時】 1月17日(火) 11:00-14:00頃

【場 所】 中庭

【参加費】大人 300 円 子ども 100 円

◆「保育相談支援(木)」履修学生(2年生)による遊びの企画◆

1月12日(木) お花紙でボールを作ろう

1月19日(木) たこ・コマ遊び

1月26日(木) 「鬼のパンツ」を歌って踊ろう

*いずれも11:15ころから始まります。

◆石井ゼミTOYS(トイズ)◆

1月17日(火) もちつき

1月31日(火) 内容はゼミで検討します

2月7日(火) 内容はゼミで検討します

*TOYSの日は、学生の学びのために参加していただいているため、利用料はかかりません。なお、学生の振り返りのためにVTR及び写真を撮影させていただいております。撮影した画像は、学生の発表会及び教員の活動のまとめ(紀要など)に使用させていただくことがあります。